

2019(令和元)年7月
習志野市男女共同参画社会づくり情報紙
第45号

きらきら Kira Kira きらきら

特集 「ありがとう」が心の支え
～習志野市運転ボランティアの会～



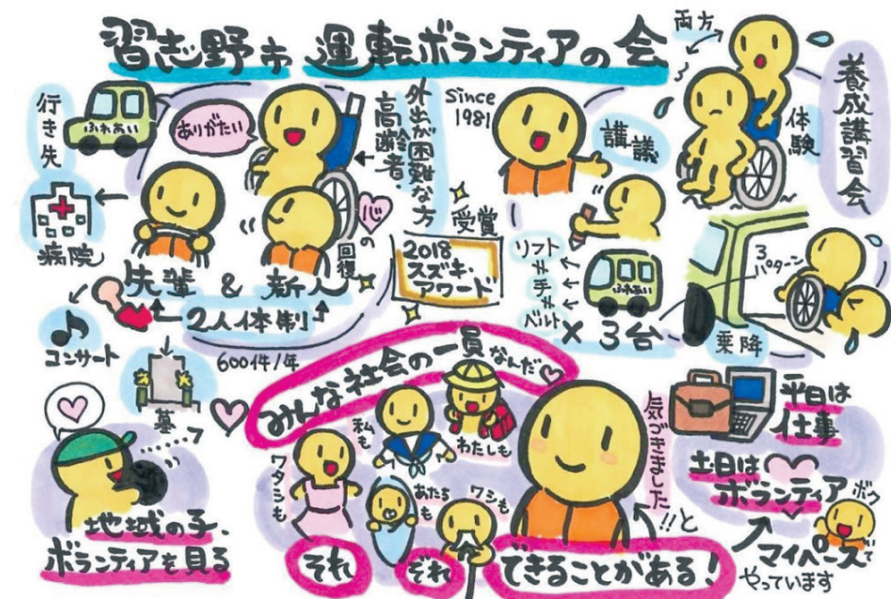
緊張感ある声が飛ぶ。習志野市運転ボランティアの会が行う養成講習会。リフトを操作し、車イスの人を搬送する訓練だ。会の活動は、歩行困難な人を車に乗せ、無料で病院などに送迎する。習志野市社会福祉協議会の「ふれあい号」3台が稼働中で、車イスのまま乗り降りできる。この日の講習会には、新たに入会を希望する男女4名も参加した。“安全第一”を目標に講習会を欠かさず実施、利用者から信頼される活動を続けている。利用した人から「“ありがとう”と言われるのが心の支え」と口を揃える5人のメンバーに集まってもらいました。

「私にもできる！」 地域で活躍ボランティア



習志野市運転ボランティアの会

習志野市社会福祉協議会に福祉車両が寄贈されたことがきっかけとなり、個人ボランティアの協力により送迎サービスを開始したことが始まりです。平成6年から「習志野市運転ボランティアの会」として活動しています。現在の会員数は48名(女性会員11名、男性会員37名。令和元年5月末現在)。40代から80代の幅広い世代の方が活動しています。仕事をしながら休みの時間にボランティア活動をしている方や、定年退職後に始めた方などさまざまです。



イラスト：池永 良恵



安心の声掛け「のぼりまーす」

■どうして始めたの？

「役に立ちたい！」



滝口さん

夫の両親を介護していました。血のつながりはなくても介護を全うできたことは大きな喜びとなっていました。車の運転も好きでしたし、高齢の方のお世話をすることは自分に向いているのではと思いボランティアを始めました。



遠藤さん

運転で役に立てるならばと思い、活動を始めました。誰かの役に立ちたいという思いが強かったです。定年後の生きがいが出て感謝しています。



畑中さん

新聞で運転ボランティアがあることを知った時、習志野市でもあるということを広報で知り参加しました。10年目ですがこの中では新参加者です。



小森さん

訪問介護のヘルパーの資格を取り、それを生かせたらと考えていました。たまたま運転ボランティア初代会長を務めた方と知り合いになり、話を伺ったことがご縁で私も始めました。



小川さん

肢体不自由の子どもを持つ親として、車イスに乗ったまま移動できる手段があればいいと思っていました。社会福祉協議会発行の広報紙「ふくし習志野」でその車があることを知り会員になりました。



段差は慎重に

「ふれあい号」どんな人が利用できる？

- ・習志野市内に居住する歩行困難な人で、心身に障がいがある方、あるいはおおむね65歳以上の方。
- ・利用料は無料(ただし駐車料金や高速利用がある場合は利用者負担)。
- ・運転できる方(74歳まで)がいる場合は「ふれあい号」の貸し出しも可。 など

「ふれあい号」の利用や、ボランティアについての問い合わせは

習志野市ボランティア・市民活動センター
(社会福祉法人 習志野市社会福祉協議会内)

受付時間：午前8時30分～午後5時(月～金)

電話：047(451)7899

(申込み受付は利用希望日の2週間前まで)

利用者の声 (社会福祉協議会がまとめたアンケートより抜粋、原文のまま)

- ・安全運転で安心です。
- ・親切で乗降車時に介助して下さるなど、さすがに社会経験豊富な方々と感心、感謝しています。
- ・大変親切に対応していただきました。車イスの乗り降りにも不安はありませんでした。

■ボランティアでつながる人の輪

活動を通じて地域のこともよくわかるようになりますし、仕事とはまた違った生きがい、やりがい、達成感があります。私は活動を通じ、他人に対する思いやりや相手の立場に立った受け止め方ができるようになりました。(遠藤さん)

市内の道路のことに詳しくなりました。時間帯によっては進入禁止の場所などがわかるようになりました。後は地域のことがよくわかるようになったかな。病院の情報など、先輩方からの情報はとても貴重です。(畑中さん)

会員の方の中には、運転ボランティア以外で他のボランティア活動もしているという方もいます。無理のない範囲で他のボランティアもやってみたら、という話もします。(小森さん)

子どもたちに運転ボランティアで活動している姿を見せたりすることは、子どもたちを通じて地域にも活動が広がっていくのではないかと思います。運転ボランティアの活動だけではなく、いろいろな場所で人と会い、話をしていけたらいいなと思いますね。(小川さん)

自分が社会とつながっているということを私は活動を通じて実感しました。家族や友人の中だけではなく、あらゆる方とのつながりは自分の心、知識、経験を豊かにしてくれます。年齢は関係なく、自分は社会にとって必要な一員なんだと若い世代や学生さんにも感じてもらえたらいいですね。(滝口さん)

仕事をしている方は、土日だけや月に1回だけでもOK。一人ひとりのライフスタイルに合わせて活動できます。「運転年齢」は74歳まで。運転担当終了後は介助担当として活動します。車イスを押したり、利用者と話をしたりと活動内容は多岐にわたっており、年齢や性別に関係なく活動中です！

習志野市男女共同参画 推進団体インタビュー

男女共同参画社会の実現に向けて、市と共に協力して活動を行う市民団体である「習志野市男女共同参画推進団体」を紹介します。



全日本年金者組合 習志野支部

設立：1989年
会員数：140人
代表：大森 三千雄さん



事務長 山川 禎一さん

すべての高齢者が安心して暮らせる「月額8万円の最低保障年金制度」の確立を掲げ、船橋・八千代・習志野の3市で合同支部が設立されたのち、個別の習志野支部となり、今年で30周年の節目を迎えます。最近では「年金における男女格差」にもようやくスポットが当たり始めています。会員の3分の2は女性です。

年金に関する活動の他「楽しい行事が7割、学習が3割」をモットーにサークル活動も盛んに行われています。10年以上も毎月続く「みんなでうたお〜会」、「名画を観る会」を始め「ばか面踊りを踊ろう会」、「小物づくり」、「パソコン教室」、「川柳の会」、「カラオケを楽しむ会」など多種多様なイベントを、主に菊田公民館で開催しています。

会員数は増えていますが、引き続き加入者募集中です。「生きがいのあるおしゃれな人生」を目指し、お気軽にご参加ください。

【問い合わせ】TEL/FAX 047(476)6032 山川

ひとりで悩んでいませんか？悩んでいる方は相談を！

女性の生き方相談

***無料 *要予約 *秘密厳守 *市内在住・在勤・在学者対象**

- ◎DV（ドメスティック・バイオレンス）のこと
- ◎夫婦のこと ◎家族のこと ◎人間関係のこと
- ◎自分自身の生き方のこと など

＜面接相談＞女性の専門相談員があなたと一緒に考えます。

日時：第1金曜 午後1時30分～3時10分・4時～7時40分

第2・4火曜、第3木曜、第3金曜 **1回40分**

午前9時～11時40分・午後0時30分～4時10分

場所：サンロード津田沼6階 市民相談室

申込：習志野市男女共同参画センター（ステップならしの）

047-453-9307 予約 平日 午前8時30分～午後5時
受付 土曜 午前9時～午後5時

編集委員の おすすめ図書



ステップならしの図書コーナーでは、男女共同参画に関する図書の貸し出しや資料が閲覧できます。どうぞご利用ください。

まんがでわかる LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略



リンダ・グラットン／アンドリュー・スコット著
東洋経済新報社 発行 2018年

主人公の美咲とその家族が仕事や生き方について考えるストーリーです。定年間近の父親、大企業を辞めてきた兄、専業主婦の母親、就職活動中の美咲やその友達の中で、誰もが誰かに共感できると思います。漫画版の良いところは20分で読みきってしまうところです。忙しいあなたにもピッタリですよ！「人生100年時代」という長寿化をメリットにするために変わる秘訣がわかります。

アンケート

実施中！

今後のより良い紙面づくりのため、皆さんの率直なご意見、ご感想をお聞かせください。

【回答方法】

右記のQRコードから専用メールフォームにアクセスし、各質問項目を回答して「送信」を押してください。



◎ 編集後記 ◎

「運転ボランティアの会」養成講習会を取材して

会の活動は充実している。車両の運転と、利用者の世話をする介助の二人体制で必ず行動する。利用者の中には体の不自由な人もいて、世話をする家族の負担も大きい。送迎の際に介助役の会員が苦労話を聞くことで、帰りの車の中では家族の表情も和らぐという。

取材をしながら会の活動意義を考えてみた。それは車での送迎にとどまらず、「心のケア」の役割まで果たそうとしていることではないか。

会員たちは性別や年齢などを超えて、ともに協力し合いながら、「利用者のために」という同じ目標に向かっている。自信に満ちた行動の中に、男女共同参画の一端を見る思いがした。(N)

